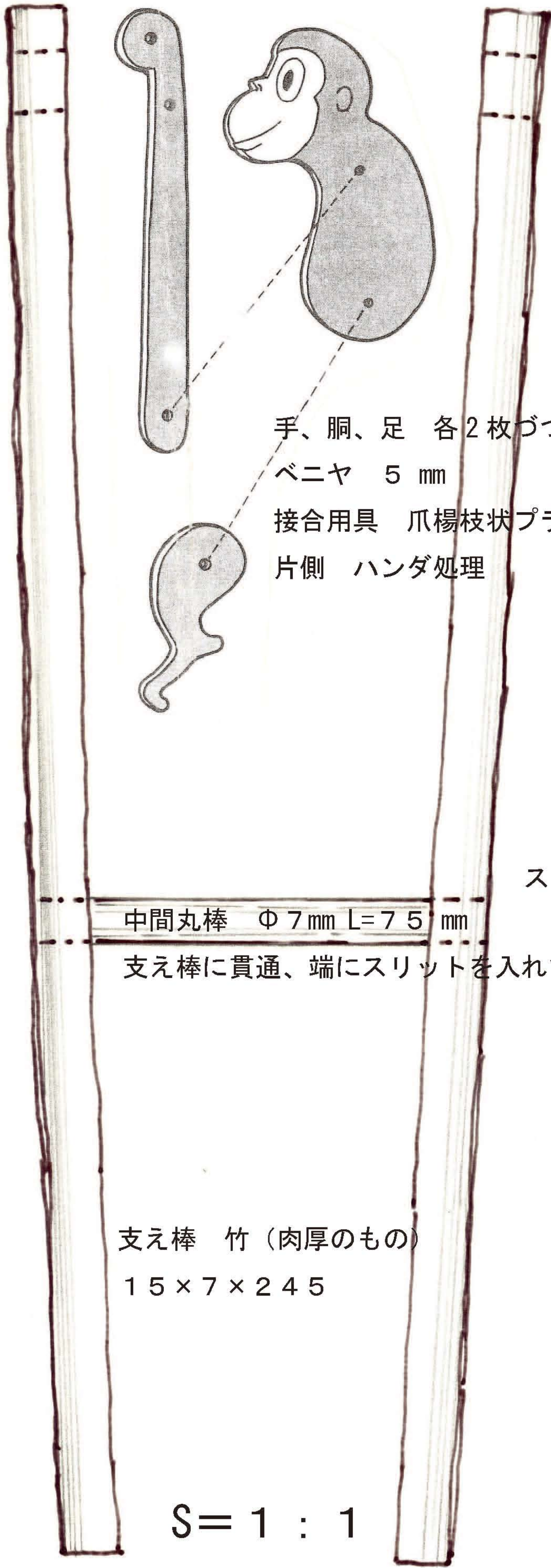


お猿の鉄棒人形-A



ひも通し穴 各Φ2.5 mm

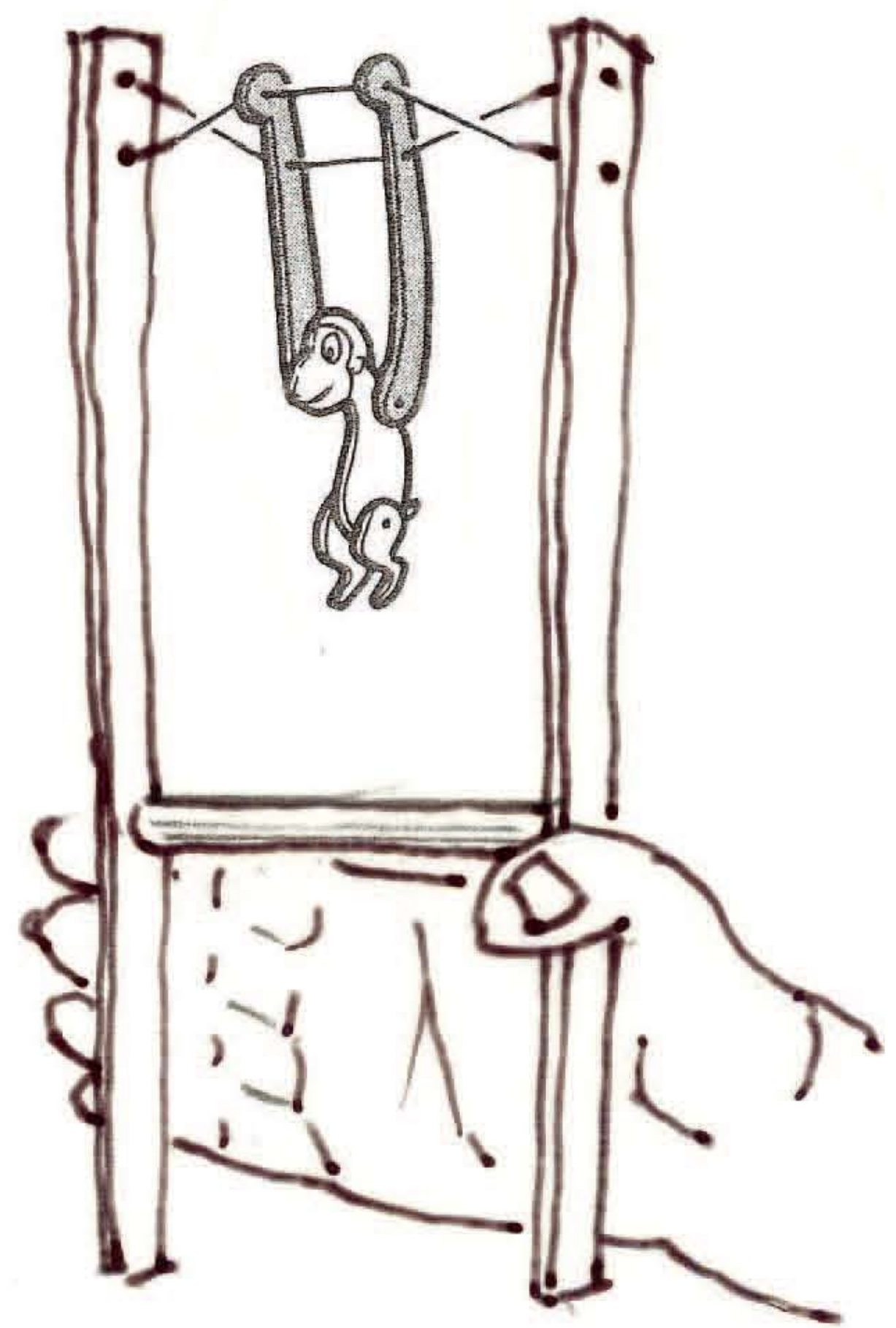
間隔 10 mm

手、胴、足 各2枚ずつ

ベニヤ 5 mm

接合用具 爪楊枝状プラスチック

片側 ハンダ処理



竹の支え棒の下部を、調子をとってリズムよく、握ったり緩めたりすると、お猿は自在に鉄棒をする。

ストロー $L=20\text{ mm}$

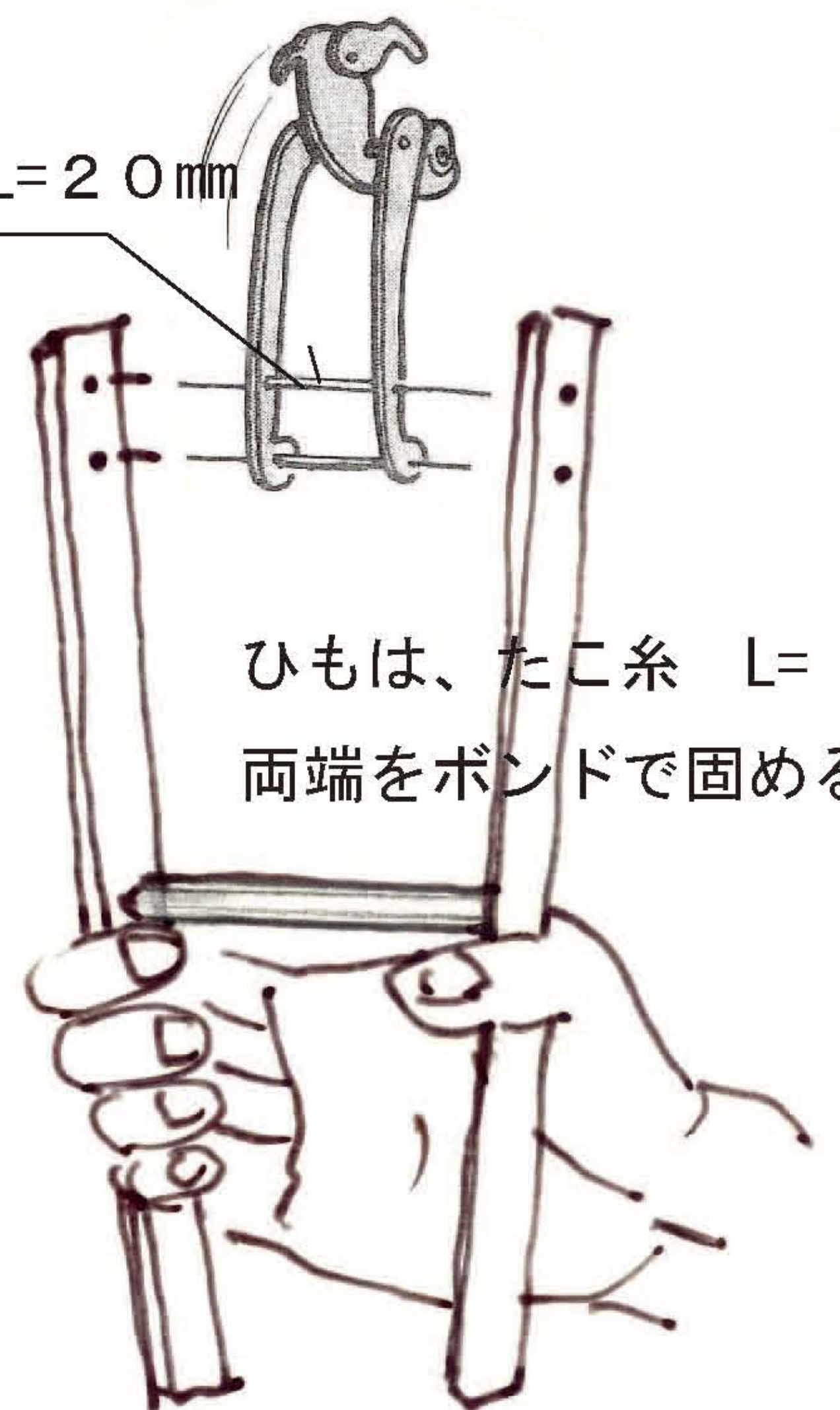
中間丸棒 $\Phi 7 \text{ mm}$ $L=75 \text{ mm}$

支え棒に貫通、端にスリットを入れておく

支え棒 竹（肉厚のもの）

1 5 × 7 × 2 4 5

$S = 1 : 1$



ひもは、たこ糸 $L = 35 \text{ mm}$

両端をボンドで固める。

ひもは、平面においてお猿を逆立ちさせた状態で、平行に、U字に通し片側で結ぶ。

